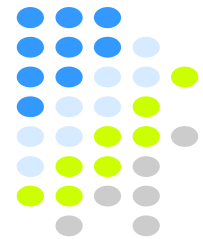


# とっとり・グローバルウオッチ

とっとり貿易支援センター情報誌



2011年6月1日

VOL. 55

## マーケット・製造拠点としてのタイ、アセアン 元ジェットロ鳥取 蒲田所員からのレポート

「タイ」と聞いて、何を思い浮かべられるだろうか。タイカレーやナンプラーに代表される「食」、山田長政の日本人村や、暁の寺などの「歴史」、最近であれば赤シャツ・黄シャツの政治的対立を想起される方も多いかもしれない。今回は3つの数字から、マーケットや製造拠点としてのタイの姿をご説明したい。

### ■約5万人

#### →タイ在住の日本人数

実はタイの首都バンコクは、世界でも有数の日本人居住都市で、その規模はロサンゼルス、ニューヨーク、上海に次いで第4位を誇る。日本人向けのサービス産業も多く、例えば日本食レストランはバンコクだけで約1,000軒あると言われており、特に日本人居住区は、さながら日本の小都市のような印象を受ける。一方、伊勢丹などの百貨店には数多くの日本食品が並んでいるが、大手企業の定番商品が多く、水産加工品やこだわりのある調味料などはまだまだ限定的だ。市場としてタイを捉えた場合、日本人相手の商売が十分成り立つ一方で、商品の幅が必ずしも十分でない、参入機会に恵まれた国と考えることが出来る。

では、人口6,500万人のタイ人向けの市場はどうだろうか。現在のタイの一人当たりGDPは、日本の1/8の約5,000ドル。特に食費は安く、一般的な日本食レストランのランチが250バーツ(約750円)であるのに対し、タイの屋台では20バーツ(約60円)で食べられる。これだけを見ると、まだまだ日本食品の売り込み先となり得ないような印象を受けるが、意外とそうでもなし。バンコクだけを見ると、一人当たりGDPは、約12,000ドル(日本の1/3弱)に跳ね上がる。また、例えばタイの食品大手Oishiグループは、日本のラーメン有名店を集めたブロックを作ったり、日本の技術を使った生チョコのお店を出店したりしているが、そこでも目立つのはバンコクの地元の方々

の姿である。タイの方は一般に、スパイスが効いた濃い味のを好んで食べるが、経済成長に伴い、「お洒落」「健康的」というイメージがある日本食の人気も着実に高まっているといえる。

### ■約1,300社

#### →バンコク日本人商工会議所に登録のある日系企業数

タイはアセアンの製造拠点として1960年頃から日本企業が多数進出してきた。現在、バンコク日本人商工会議所には約1,300社の企業が登録しており、海外の商工会議所の会員数としては世界一の規模となっている。登録をしていない日系企業を含めると、その規模は3,000社とも5,000社とも言われており、自動車産業や家電産業を中心に幅広い裾野産業を抱える、日系メーカーの一大集積地となっている。

また、アジア地域全域の旺盛な需要に支えられ、企業の生産活動も好調である(※)。自動車産業を例にとると、国内需要に加え、「アジアのデトロイト」となる目標を掲げる政府の下、現在タイは200万台近い自動車を生産し、半数近くを近隣諸国へ輸出している。近年ではトヨタがプリウスの生産をタイで始めた他、日産もマーチの生産拠点をタイに移管し、日本に逆輸出するなど、技術水準の高い車の生産も行われるようになった。

※ 東日本大震災の影響で、自動車各社は減産体制を取っており、タイ工業省のまとめによれば、全自動車メーカーの4月～6月の減産台数は15万台に達するとされている。一方、5月末にはタイのトヨタの工場が計画を前倒しして通常生産に戻すなど、サプライチェーンの確保に各社が全力を上げている状況である。

## 目次

|                       |            |
|-----------------------|------------|
| マーケット・製造拠点としてのタイ、アセアン | P 1<br>～ 3 |
| 中国・長春の日系企業に聞く【後編】     | P 4        |
| 現地発！台湾月刊レポート 48       | P 5        |
| 最新の上海～現地レポート～ 39      | P 6        |
| お知らせ                  | P 7        |

## 世界の祝日 7月

|       |    |                  |
|-------|----|------------------|
| ■香港   | 1日 | 香港特別行政区<br>設立記念日 |
| ■タイ   | 1日 | 年央休暇             |
| ■7/14 | 4日 | 独立記念日            |

出所：ジェットロ通商弘報  
「世界の祝祭日2011年版」から

開発中の経済回廊 ～つながりを深めるアセアン各国～  
 (アジア開発銀行ホームページより)





## ■2015年

### →アセアン統合が完成する年

東南アジア諸国連合（アセアン）は、1967年に5カ国で発足して以降、カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム（CLMV諸国）の加盟などを経て、経済的・政治的つながりを深めてきた。そのような動きを深化させるべく、現在アセアンは大きな目標として、経済共同体、政治・安全保障共同体、社会・文化共同体として統合することを掲げている。2015年はそれらの共同体が完成する年とされており、それに向けて主要港湾・道路の整備、通関システムの共通化、家電や自動車の規格の統一など市場統合への取り組みを着々と進めている。

その中で、タイはメコン各国（CLMV諸国+タイ）の中核となる位置に立地し、主要道路が交差する地域として今後ますます産業の集積が進むことが予想されている。周辺国には、例えば、人口約8,500万人のベトナム、同

5,500万人のミャンマーがあるが、ベトナムは裾野産業が未熟なため、またミャンマーも経済制裁の影響で産業構造が未発達なため、自動車などの高度な産業についてはタイが現在相当程度優位な立場にあり、それらの国へ輸出を行う拠点となっている。

アセアン10カ国の人口の合計は約5億8000万人。2015年には、日本の5倍近い人口を抱える一大市場が誕生することとなり、さらに2050年までに域内人口は7億7000万人にまで膨らむと予想されている。またアセアンは、人口約13億人の中国、12億人のインドに隣接し、それらの市場に対しても今後輸出が伸びていくと想定されている。現在、日本だけでなく、中国、韓国、欧米各国がアセアンに対する産業協力・投資の動きを強めているが、それは魅力的な市場であることの証左である。遠いようで近い、タイ、アセアンへ、少し思いを馳せてみてはいかがだろうか。

### ★タイについて（ジェットロHPより）

国名：タイ王国 (Kingdom of Thailand)  
 面積：513,115平方キロメートル(日本の約1.4倍)  
 人口：6,339万人 (2008年末、タイ中央銀行)  
 首都：バンコク (人口：572万人、2007年国家統計局)  
 民族：大多数がタイ族。その他、華僑、マレー族、山岳少数民族等。  
 言語：タイ語  
 宗教：仏教95%、その他イスラム教4%、キリスト教0.6%など



タイの国旗

【JODC(財団法人海外貿易開発協会)バンコク事務所所属  
(元ジェットロ鳥取) 蒲田】

## 海外チャレンジ補助金のご案内

### これから海外の市場へチャレンジする方は是非ご利用ください

財団法人鳥取県産業振興機構では、県内企業の海外見本市出展、サンプル輸入事業などの海外展開活動を支援するため「とっとり県内企業海外チャレンジ支援事業補助金」を設け、平成23年度の補助対象事業の募集をしておりますので、ご案内します。

■名称：とっとり県内企業海外チャレンジ支援事業補助金

■対象事業：①海外見本市・商談会・物産展出展事業  
 ②県内港湾を活用したサンプル輸入事業  
 ③商品の通関に伴う各種検査及び証明書等認証関係書類作成事業  
 ④輸出入を目的とした海外市場調査事業  
 ※ただし、補助対象経費の総額が20万円以上の事業とする。

■補助金額：補助対象経費の1/2以内(上限100万円)

■募集期間：随時。ただし、補助金予算額(計800万円)が満額になり次第締切ます。

■注意事項：対象者、対象事業、審査基準等の詳細につきましては、別途条件を設けております。各条件の詳細は当財団ホームページに掲載している交付要綱、交付要領をご確認いただくと共に、事務局までお問い合わせください。

■問合せ先：財団法人鳥取県産業振興機構 海外支援グループ(担当：亀谷)

〒689-1112 鳥取市若葉台南7-5-1 電話 0857-52-6703/FAX 0857-52-6782

URL <http://www.toriton.or.jp/>



【(財)鳥取県産業振興機構 海外支援グループ 亀谷】

# 中国・長春の日系企業に聞く【後編】

## 天津中野塑料制品有限公司 茶谷総経理

前回に引き続き、中国・長春の日系企業、天津中野塑料制品有限公司長春分公司の茶谷総経理へのインタビュー「後編」をお届けします。

### ■こちらで仕事される上で困る点、問題点というところなものはありますか？

やはり言葉です。次に習慣、仕事に対する意識。特にお金の回収が大変です。日系企業に関しては全く問題ないですが、弊社は中国企業との取引が多く、金銭回収でのトラブルが多いのが現状です。もちろん、きちんとした企業も多いのですが、未回収金が増えて資金繰りが難しくなることが起こりえます。

### ■採用、人事面についてはいかがですか？また、工員が足りなくなるといったケースはありますか？

採用、人事は各分公司独自で行っています。長春分公司では今のところ現場の人間が足りない状況になったことはありませんが、注文が増加したときに、きちんと作業員を確保できるかどうかについては不安が残ります。華中・華南地域では、近年特に人員の確保が難しくなっています。その上、ここ一年で最低賃金が20%も上昇しており、雇用環境は大変厳しい状況です。

### ■気候の面ではいかがですか？

長春市の夏は大変涼しく、湿度も低いので快適です。一方、冬は寒く長いため、物流や在庫管理の面で注意が必要となってきます。弊社は樹脂製品が中心なため、樹脂が割れやすくなることに十分留意して取り扱うようにしています。

### ■中国での包装・梱包資材の市場規模はどのような状況でしょうか？

中国全体では需要は拡大していますが、長春市を含めた東北地方でみるとまだまだという印象です。部品の荷姿レベルはまだ低く、今後、トヨタさんが進出してくれば、その他のメーカーも倣って需要が増えてくると思います。一方、トヨタさんが既に進出している天津市

の市場は成熟しています。近頃はトヨタさん以外のメーカーについても、まねする企業が増えてきたため、新規に依頼が入るようになってきました。天津への進出が2003年でしたが、8年目にしようやく、という気持ちです。長春でもトヨタさんが進出しますので、今後の伸びが期待できると思います。

### ■これから取り組む新事業や目標などはありますか？

自動車の樹脂部品に取り組みたいですね。やはり、現在の長春市で包装・梱包材だけでは事業的に難しい現実があります。事業を多角化することで売り上げを安定化させたいのです。包装・梱包材の需要があるのは、新車の立ち上げ時期やモデルチェンジがある時など、部品の変更が生じる際に注文が来ます。新車もモデルチェンジも無い時は、極端に需要が少なくなるのです。よって、梱包材だけでは需要に波があるため目標も立てづらい。毎月出荷の見通しができる商品を開発することが目標です。

### ■最後に、これから中国への進出を考えている企業にメッセージをお願いします。

環境にもよりますが、メンタルのタフさが必要だと思います。自分は一人で赴任してきましたので、赴任当初はとても辛かった。そして、中国人のことをよく知ることが大切だと思います。個人個人を見極めて、その人に適した話し方や対応が必要になってきます。

弊社は独立資本のため、パートナーとなる中国企業はありませんでしたが、天津市に拠点となる分公司があるおかげでいぶんと助けられています。中国国内に複数の分公司がある点が強みですが、一番初めの天津市の立ち上げはかなり大変だったようです。信頼できる中国人のパートナーを見つけることがとても重要になります。

私は長春が好きです。住みやすいと思います。日本人が多すぎず、街が大きすぎず、火鍋がおいしい。食生活が日本人にあっている。これは大事なことです(笑)。

(インタビュー実施日：2011年3月21日)



在庫が置かれた工場内の様子



工員によるトムソン加工の様子

### 天津中野塑料制品有限公司 長春分公司

2008年3月5日に独立資本にて設立、2009年5月1日に工場を開設し製品製造を開始。社員は現在20人。うち日本人は茶谷一平総経理一人のみ。茶谷総経理は2009年10月着任。

# 現地発！台湾月刊レポート 48

## 台湾の飲料危険物質混入問題

東日本大震災のニュースがすっかり消えた台湾。食品の放射能物質汚染の話もまったく聞かない。日本に対して最大の義援金を出したが、熱しやすく冷めやすい台湾人の性格が現れている。常に刺激の強い話題を追い続ける台湾報道の姿勢もある。

### ■原材料に工業製品を混ぜていた飲料が出回る

さて台湾では連日、毒食品の話題で持ち切りだ。問題はペットボトル飲料品にとどまらず台湾夜市販売品にまで汚染禍が広がってきた。「塑化剤問題」である。塑化剤とは、日本語で言うと可塑剤である「フタル酸エステル」。サンキスト等大メーカーの飲料にも混入していることが発覚し大問題になった。「DEHP（フタル酸ジ-2-エチルヘキシル）」を乳化香料「起雲剤」のメーカーが、数年以上前から混入させていたのだ。乳化香料は、食品で一般的に使用されている。例えば水と油を水溶液中に安定的に混ぜあわせる場合に使用する。では可塑剤とは何か。以下、Wiki等より。「可塑剤（かそざい）は、熱可塑性合成樹脂に加えて柔軟性や対候性改良する添加薬品類の総称である。可塑とは「柔らかく形を変えやすい」という意味の語である。」「可塑剤の大半がフタル酸エステルで、特に常温で硬い塩ビに添加することにより、電線被覆・壁紙・一般用フィルム・濃ビ・塩ビレザー等の軟質塩ビを得ることができる。」当然ながら、食品に混入させることは禁止されている。

### ■人体への影響

台湾衛生当局は、この物質が飲料から検出された時、ペットボトル容器或いは蓋、製造過程で混入したと考えた。しかし調査の結果、乳化剤にこの可塑剤をメーカーが混入していることが発覚した。本物質が含まれている飲料を日々摂取していた女性の出生児の生殖器が発達していないという報道から大問題となった。乳がん、男性機能の問題、精子減少等の影響等があるとしてマスコミが放射線物質の次の話題として日々センセーショナル報道を行っている。

日本でも以前、本物質が環境ホルモン、内分泌攪乱物質として問題になったことがある。ただし日本環境省HPには、次の記述がある。「環境省では、環境ホルモン戦略計画 SPEED' 98掲載の内分泌攪乱作用が疑われる物質について、平成12年度から順次、有害性評価を行っています… 哺乳類を用いた人健康への内分泌攪乱作用に関する試験結果（1）今回得られた試験結果からは、いずれの物質についても、低用量での明らかな内分泌攪乱作用は認められなかった。ただし、一部の物質については、現時点において内分泌攪乱作用との関連は明らかではないものの、mRNA発現量、臓器重量あるいは血液学的検査等につき有意差のある変化が認められており、今後の知見集積の中で注視する必要がある。（2）なお、全ての物質について、高用量（既報告で影響が認められた用量）では、一般毒性と考えられる影響が認められた。今後、一般毒性を含む環境リスク評価を行う際

には、この知見を活用する。」との見解を出している。

現在、原発問題で政府・業界団体に対して懐疑的になっている私たちだが、原材料メーカーが工業製品を食品に入れ続けていたことは、健康被害の広がりが大きく問題になることはあたりまえである。

### ■スマートフォンで安全を検査

商品は回収されているようだが、在庫があるので皆さんも銘柄をよく見て飲むようにしていただきたい。最新報道では、多くの観光客が訪れる士林夜市でも多くの店で使用されていたことが判明した。飲んでしまった日本人も多いだろう。観光の影響が懸念されている。対象は台湾の飲料大メーカーに延焼し、味全、黒松、金車、白蘭氏、台糖等にまで影響を与えている。では、どのように調べるか。これが面白いのだ。まさにIT時代である。皆が協力し、危険食品（一覧）データベースを作成した。以前もこの程度の協力はあった。現在、日本でもはやりのスマートフォンを使用することに特徴がある。食品バーコードをスキャンすると、瞬く間に商品の安全有無が画面に結果が出る。こういうスマートフォンシステムの使い方もあるのかと感動した。大変に良いアイデアである。日本の研究結果を見る限り問題なさそうにみえるが、私もたまたま飲んでいたのでちょっと不安な問題である。



### ■台湾「絆」東川町プロジェクト

さて、もう一題。弊社がお手伝いしている北海道の東川町では、台湾からの多大な義援金に感謝し、台湾人を25人、無償で専門学校にて日本語研修を受けさせる、台湾「絆」東川町プロジェクトを台湾にて実行した。結果、2200人も台湾人が殺到し大成功となり、大手自由時報、テレビ等で大きく報道された。実は広報料は、ほぼタダである（というか原資がなかった）。本活動に他県からも本活動の有効性、例えば観光、交流、広報等に気がつき問合せが相次いでいる。どのような広報戦略を立てたか、次回、報告したい。キーは、IT時代である。

#### 《参考》

環境省HP

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=4159>

可塑剤工業会

<http://www.kasozai.gr.jp/qa/qa03.html>



# 最新上海 ～現地レポート～ 39

## 震災後の日本経済への影響② 訪日観光事情(5月30日時点)

前回の本誌第54号(2011/5/12発行)では、「震災後の日本経済への影響」として中国による日本食品への規制と販売の現状についてお伝えした。今回は、中国の訪日観光への規制とその現状についてレポートする。

### 1 規制の動向

#### ■ 旅遊局からの規制・指示

- 3月11日 国家旅遊局より「訪日観光について注意喚起、被災地区行きを自粛」通知  
 3月15日 国家旅遊局より「被災地区行きを自粛」通知  
 3月15日 上海旅遊局HPより「上海市旅遊局は、上海市に拠点を構える旅行会社を招集し、今後の日本旅行業務に対する要求を提出した。」の旨掲載

上海市の複数の旅行会社からのヒアリングによると、地震発生後は、団体観光ビザで訪日する団体ツアーを催行する場合、ツアー参加者リストに上海市旅遊局の捺印が必要になったため、被災地区以外の訪日観光であっても、上海市旅遊局の承認がなければ、事実上催行できない状況であった。

#### ■ 規制による影響

上海総領事館によると、3月11日以降の団体観光ビザ申請件数はゼロで、個人ビザの申請件数も去年同期比約90%減少という状況であった。上海と九州・関西を運航するクルーズ船団体旅行社は夏までの日本寄港中止を決定し、コースを韓国・香港・台湾などに変更している。このように、団体旅行については、4月及び5月のほぼすべてキャンセルとなり、観光目的の個人旅行についてもキャンセルが続出し、一部ビジネス目的の渡航者がいたに過ぎない状況であった。

### 2 規制緩和、回復の動向

#### ■ 旅遊局による規制緩和(3月11日～4月末)

5月初旬の旅行会社へのヒアリングによると、江蘇省旅遊局、南京市旅遊局、蘇州市旅遊局が口頭で団体観光を許可され、これらの旅行会社は訪日旅行の募集を開始していた。その後、上海でも春秋旅行社が5月29日発の高松イン大阪アウト4泊5日ツアーを売り出し、通常価格の半額程度ではあるものの、5月半ばには29名を集客している。春秋旅行社は、北京の国家旅遊局との面会を経てお墨付きをもらい、訪日団体ツアーの催行に踏み切

ったとのこと。この結果に対し、上海旅遊局も追随した形となり、その後、上海錦江国際旅行社は6月出発のツアーを企画し、上海国旅国際旅行社と上海中旅国際旅行社は7月出発のツアーを計画していると発表するなどの大手旅行会社各社が動き出した。

#### ■ 訪日旅行回復の兆し(5月初旬～)

上海東湖国際旅行社(常德営業部)という国営系旅行会社に訪問し、訪日旅行の現状について伺った。同社は上海市内に34箇所の営業拠点、従業員約600名を抱える大手旅行社。東湖集団という主にホテル業を行う国営企業の傘下に属するため、個人向け、企業向けサービスのほか、政府向けに視察団等の旅行手配業務も行っている。とりわけ、今回訪問した常德営業部は上海34営業部の中で規模・売上ともにトップレベルで、日本旅行の販売においては、売上1位である。同営業部は、商品の企画開発も独自で行っている。

同部での訪日旅行商品(下記表参照)は、目下、地震の影響を考慮し、西日本を横断する周遊旅行コースを販売している。6月出発分は約25名/ツアーで、2本の催行が決定している。7月出発分については、35名/ツアーで集客しており、4本の催行が決定している。6、7月ともに更なるツアー催行数を見込んでいる。

同社によれば、「日本の最も人気のある観光地は東京だったけれども、立地的に被災地から近いと、訪日旅行解禁直後の今は、西日本の旅行をメインに販売している。そのため、これまで未開発であった西日本の観光についてルートづくりや商品開発をしている状況」とのこと。ちなみに、その他の旅行社もほぼ同路線で、ツアーの企画販売を行っている。

#### ■ 現在の状況(5月末時点)

5月21日から22日にかけて日中サミットのために中国首相温家宝が来日し、日本への復興支援の意思を表明し、日本の輸入商品受け入れに対する規制緩和にも触れている。また、地震発生後、「調整中」とされていた中国国家旅遊局の邵琪偉局長率いる訪日視察団についても5月30日から催行されることが決定し、視察団100名が東京と大阪を訪問する。このように、政府レベルでの会談の場が持たれ、そこにおいて日本への規制緩和の方向性が示された意義は大きい。また、今日の回復には、震災後2ヶ月の間に進められてきた日本政府・自治体、日本観光局、企業による不断の活動があった結果であることを忘れてはいけない。

| 日程   | 出発日      | イン  | アウト | 訪問経由地            | 価格※   | オプションツアー   |
|------|----------|-----|-----|------------------|-------|------------|
| 5泊6日 | 6/25     | 福岡  | 大阪  | 神戸、奈良、(熊本)       | 3880円 | 京都、阿蘇山(熊本) |
| 5泊6日 | 6/23, 24 | 福岡  | 大阪  | 熊本、神戸、奈良         | 3680円 | 京都、大分(湯布院) |
| 5泊6日 | 6/19     | 名古屋 | 長崎  | 奈良、大阪、神戸、福岡、(大分) | 3680円 | 大分(湯布院)    |
| 4泊5日 | -        | 高松  | 高松  | 奈良、京都、大阪、神戸      | 2988円 |            |

※上記価格に各種税金及びビザ費用込み

「同社の訪日旅行商品一覧(5/26時点HPより)」

【(株)チャイナワーク 孫】

## お知らせ

### 「アジア売れ筋商品セミナー」 参加者募集の御案内

本セミナーでは、アジア地域の消費・流通市場の現状、売れ筋商品から見た域内各国の消費特性について現地調査をもとに解説します。インドネシア・ベトナム・マレーシアを始め、アジア各国消費市場への理解を深める良い機会ですので、皆様、この機会にぜひご参加ください。

- ★日時：2011年6月22日（水）  
14時～16時15分
- ★場所：島根県市町村振興センター  
（タウンプラザしまね）
- ★主催：ジェットロ松江
- ★参加費：無料
- ★定員：40名
- ★申込締切：6月16日（木）
- ★申込・問合せ：  
ジェットロ松江（藤田、島田）  
TEL：0852-27-3121  
FAX：0852-22-4196

### 「貿易実務基礎マスター」 参加者募集のご案内

ジェットロ鳥取では、今年2月に開催された「貿易実務入門」に引き続き貿易実務講座を開催致します。前回の内容を踏まえ、事例演習を交えながら輸出入の基礎的内容をわかりやすく解説致します。講師には、丁寧な説明が好評で、全国的に活躍されている中矢一虎氏をお招きします。前回受講された方はもちろん、新たな受講者も歓迎致します。

- ★日時：2011年6月28日（火）、  
29日（水）
- ★場所：倉吉未来中心2階
- ★講師：中矢一虎氏
- ★参加費：無料
- ★定員：40名
- ★申込締切：2011年6月24日（金）
- ★申込・問合せ：  
ジェットロ鳥取（田口、細田）  
TEL：0857-52-4335  
FAX：0857-52-4336

### 「貿易実務のノウハウと応用テクニックマスター」 参加者募集のご案内

今月開催される「貿易実務基礎マスター」の内容を踏まえ、支払い条件や遅延債権の回収、あるいはクレームの対処方法など、実例を取り上げ解説する応用的な内容です。講師には、丁寧でわかりやすい説明が好評で、全国的に活躍されている中矢一虎氏をお招きします。現在貿易実務に従事されている方がレベルアップを図るために最適です。

- ★日時：2011年7月6日（火）、  
7日（水）
- ★場所：倉吉未来中心2階
- ★講師：中矢一虎氏
- ★参加費：無料
- ★定員：40名
- ★申込締切：2011年7月4日（月）
- ★申込・お問い合わせ：  
ジェットロ鳥取（田口、細田）  
TEL：0857-52-4335  
FAX：0857-52-4336

### 編集後記

福島原発事故による日本食品への風評被害が各国で懸念されていましたが、つい最近中国上海を訪問した方に話を伺ったところ、上海の日本料理屋は多くの中国人客で賑わっており、特に若い女性が日本料理屋に来店する姿が多く見られたそうで、風評被害という面ではかなり回復した模様です。

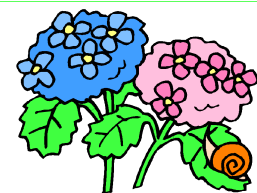
しかし、依然として、各国での日本食品輸入は規制がされており、以前のようにスムーズに物が動くまでには、まだまだ時間がかかりそうです。

香港では先日「愛・日本料理（責任者：香港日本料理店協会）」というイベントが開幕し、日本産食材の安全性をアピールしているそうです。参加する日本料理店や日本産食品関連店舗は会期中、日本食が半額で食べられる日を設定するなど、日本食に対する懸念払拭を図っています。香港はもともと、日本食が好きな人が多いので、このようなイベントによって、徐々に多くの人からの信頼を回復することができることでしょう。【zao】

本誌『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしておりますのでメールでお気軽にお寄せください。

お問い合わせ：（財）鳥取県産業振興機構 企業支援部  
海外支援グループ（担当：早川）

E-mail：kaigai@toriton.or.jp  
TEL：0857-52-6703 FAX：0857-52-6782



### とっとり貿易支援センター

貿易に関する相談はこちらの窓口へ

#### 【東部窓口】

- （財）鳥取県産業振興機構企業支援部  
海外支援グループ  
TEL 0857-52-6703
- ジェットロ鳥取貿易情報センター  
TEL 0857-52-4335

#### 【西部窓口】

- 株式会社みさと貿易センター  
TEL 0859-47-3900
- 境港貿易振興会  
TEL 0859-47-3905

#### 【その他関係機関】

- 境港管理組合港湾管理委員会事務局  
TEL 0859-42-3705